

(5) 人文・社会科学分野における 社会とのリエゾン

教育学研究科の社会貢献の例

その他の部局においても、積極的に社会貢献を実施

(1) 学校現場と連携



www.educ.kyoto-u.ac.jp/e-forum/

E.FORUM 教育研究開発フォーラム 「全国スクールリーダー育成研修」

学校や地域の教育改革を推進するスクールリーダー（教育委員会指導主事、学校管理職・研究主任など）の育成・力量向上を担う

(2) 地域と連携



教育実践コラボレーション・センター「野童いなか塾」

- ① 京都府相楽郡南山城村野殿・童仙房地域固有の学習資源を活用した学習プログラムの開発と、自然と人、大学と地域の交流を促進
- ② 体験活動を組織するNPO、ボランティア団体、生協等とのパートナーシップの推進、体験を基盤とした教育・学習の理論と実践の「開拓」

(3) 京都市と連携



<https://www.coc.kyoto-u.ac.jp/report/>

地域連携教育研究推進ユニット（代表部局：教育学研究科） 「COCOLO 域」

総合大学の強みを生かした部局横断により地域の課題を解決
大学がもつ“知”を地域活性化のために活用し、地域は自らもつ
“教育力”を大学に還元

(4) 心理教育相談室の市民への開放



附属臨床教育実践研究センター 心理教育相談室

臨床心理学を学問的基盤とした実践活動の場として昭和55年に国立大学で初めて発足

市民の「こころ」の諸問題について、実際の相談活動を展開、専門的な相談活動のほか、教育訓練及び相談施設のモデルの役割を果たす

2015年度の相談件数：新規受理件数約100件

相談実数：約280件 延べ相談面接時間数：約3,500時間

研究成果の公開メディアの例

強み・特色・社会的役割を踏まえ研究成果を公開

○アジア・アフリカ地域研究研究科

アラビア語、ウルドゥー語ともに蔵書量は2万点以上で全国1位
日本では本研究科のみの貴重な資料多数保有し、デジタル化により公開



中東及び南アジアのイスラーム研究を含む地域研究をより深化させ、さらなる発展に大いに寄与

○東南アジア地域研究研究所

60年代より叢書、学術雑誌、2000年代より多言語オンラインジャーナルの継続的な刊行を通じ、研究成果を広く社会に還元



研究成果の多くは、社会の統合的理解を促すものであり、政策提言に寄与

○東南アジア地域研究研究所

貴重な地域研究資料のデータベース公開、データベースの高度利用、分析を支援する情報ツールを研究者に提供



「地域の知」に関する情報を社会に発信

研究成果の公開例

強み・特色・社会的役割を踏まえ研究成果を広く公開

○総合博物館

国宝、重要文化財、タイプ標本、パウチャー標本など学術標本資料約260万点を収蔵
研究や教育のために活用するとともに、広く社会に公開



京都市左京区吉田本町

* 研究資源アーカイブの公開

本学における教育・研究の過程で収集・作成された研究資源（写真、映像などの一次資料）を、体系的に収集・保存・運用し、教育・研究資料として活用するとともに、広く社会に公開



映像ステーション・映像コンテンツなど公開ー 個人閲覧用ブース

○文化財総合研究センター

鴨東地域の先史時代以降の歴史を復元するための資料を蓄積・公開



吉田南構内発掘調査における弥生時前期水田を発見

* 文化財発掘 ー京大キャンパス出土の埴輪ー

(総合博物館・文化財総合研究センター)

35年に渡る延べ100万㎡に及ぶ埋蔵文化財の発掘調査の成果を展示

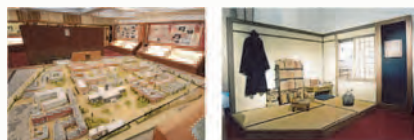


○大学文書館

特定歴史公文書等その他の京都大学の歴史に係る各種の資料の収集、整理、保存、閲覧及び調査研究などを行うとともに、広報教育活動として広く社会に公開



大学文書館 京都市左京区吉田河原町



歴史展示室 京都大学百周年時計台記念館 1階

* 京都大学の歴史に係る各種の資料の収蔵・公開

初代総長 木下廣次 所蔵資料など特定歴史公文書等を収蔵・公開



帝国大学時代のもの

寄贈・寄託文書の例

京都大学企画・情報部企画課 IR 推進室

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL : 075-753-2178

E-mail : ir@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp